

# 進路通信

2021年 第5号 9月1日(水) 発行

## 2学期スタート!

約40日間の夏休みが終了し、いよいよ2学期が始まります。緊急事態宣言下での夏休みとなりましたが、計画通りに過ごせたでしょうか?まずは元気に登校してくれていることを期待します。

さて、これから始まる2学期は1年間の中で一番長く、そしてどの学年にとっても大事な時期となります。

高校1, 2年生にとっては、秋に次年度の文理コースや科目選択により進路を方向付けることになる進路選択を行います。

高校3年生にとっては、言うまでもないですが9月~12月にかけて総合型選抜(旧AO)、学校推薦型選抜などの出願・試験が本格的に始まり、一般選抜受験は、秋までには受験校をほぼ決定する時期となります。

中学も含めてどの学年にとっても今後の成績を左右する、言い換えれば成績を向上できるチャンスとなる学期です。前向きな気持ちで頑張りましょう。

## 模試が返却されます

7月に高校全学年で行われた模擬試験(進研模試)が2学期初頭に返却されます。高1生にとっては高校で初めての全国模試の結果となります。高校入試の時に受けていた業者テストとの差に驚く人もいるかもしれません。

模試が返却された後にやっておくべきことを以下に示しますので是非実行してください。

### ①偏差値よりも素点に注目せよ!

模試の結果では、偏差値や判定に意識が行きがちですが、大事なのは**素点**です。科目毎・分野毎に自分がどの程度点数をとれているかを、全国平均点との差、分野科目間での凸凹に注目して分析しよう。**点数の低い分野に加え、平均点との差が**

**開いている分野は**、今後特に力を入れて勉強すべき部分です。足を引っ張る科目は、今後致命傷になりかねません。得意を伸ばすことも大切ですが、まずは不得意を補強することに意識を向けてください。80点を90点にするより、20点を50点にする方が一般的に実現性は高いのです。またその際、「偏差値5上げる」と考えるよりも「得点を10点上げる」と考えた方が、目標が明確になります。進研模試の成績票では、偏差値に加えてGTZが表記されます。GTZを一つ上げるのにあと何点必要か、が示されています。その点数を出すためにどの問題を取れるようにすればいいかと考えて問題と答案を見直してください。

### ②とにかく反復練習せよ!

模試は、全国での実力を判定するだけではなく、弱点を発見し知識を定着させるためのものでもあります。返却後、間違った問題に印をし、解説を読んでから自力で解けるようにします。次の模試やテストがある直前に再度問題を解き直し身につけているか確認します。このように1回の模試を反復することで弱点だった知識がやがて定着していきます。高3生は今後模擬試験が続きますが、これを入試本番まで継続できれば相当な知識が定着できるでしょう。とにかく反復です!



**初級レベル** 生粋(きっすい) = pure  
→ 純粋で混ざりけがないこと

**標準レベル** 鳥瞰(ちょうかん)  
= bird's eye view  
→ 高所から見下ろすこと

**発展レベル** 黎明(れいめい) = dawn  
→ 夜明け、新しい事柄が始まろうとすること